

令和2年1月30日

足立区立第九中学校

学校長 長塚 琢磨 様

足立区立第九中学校 開かれた学校づくり協議会

会長 池田 博己

令和元年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

- 学校の現状、成果と課題、重点的な取組事項等が、昨年同様わかりやすく作られている。
- 重点的な取組事項については、目標が正しく数値化され、実施結果も具体的でわかりやすい。
- 達成度の◎が7つもあったのは素晴らしい。一方、△が1つあったので、ここは改善したい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

○重点目標1…学力向上：学力向上アクションプラン

区学力調査通過率は、65%の目標に対し64.0%と若干届かなかったものの、昨年比8.4ポイントアップしたのは、先生方の基礎学力を意識したきめ細かな指導の賜物と言える。その基礎学力達成率は、目標の80%に対し85%と優秀で、学習意欲を高める指導の実施は、目標値80%に対し、実施は91.3%になっている。一方、家庭学習1時間以上の目標60%に対しては58.2%と若干の未達となった。この数値から、スマホ対策を含め、家庭学習習慣の確立が今後の課題と言える。

○重点目標2…健全育成：思いやりを中心に豊かな心を養う

生徒の自己評価を見ると、自己肯定感が目標値75%に対して、78.4%と好結果であり、特に3年生においては85.4%と大きく上回っている。「よりよく生きる人間性として学校生活に満足」が目標の80%に対し、89.7%と大きくクリアしており、「人のためになる活動」も83.7%と良好で、「行事等の頑張り」も95.9%とほぼ満点に近く申し分ない。引き続き先生方の工夫と努力を願う。

○重点目標3…体力向上：自らの生活を豊かにする活力ある生徒を育成する

平成31年3月に東京都教育委員会体力向上優秀校を受賞したことは素晴らしい。生徒の自己評価では、「スポーツ関心度」85.1%、「体力の高まり感」79.7%、「部活動での頑張り度」83.5%、「小中交流と社会貢献」87.0%との好結果を得た。しかし、「部活動での頑張り度」の目標値は90%以上と高いものだったため、やや物足りず、今後の部活動について再考の必要性も感じる。

○保護者・地域への期待

恒例となった全教員と協議会との面談が9月にあり、今年も有意義な情報交換ができた。学校や先生たちからの期待に応えるべく、生徒たちのために後援会共々バックアップしていきたい。

3. その他

○相変わらず文化祭での英語劇などの発表は素晴らしいものが多く、毎回感動をいただく。また、運動会も生徒中心に活動し、しっかりと締まった元気で気持ちのよい運動会であった。

○学習時間、睡眠時間に関係なく、スマホを1時間以上使用している子どもの学力は低下することが明らかになっている事実を生徒や保護者に伝え、スマホ依存の現状からの改善を促したい。